

連合福島「2015 春季生活闘争」特別研修会

賃上げで景気の底支えを！ 「休み方」「働き方」改革で長時間労働撲滅！

～構成組織から約200名が出席～

連合福島は春季生活闘争の取り組みを前に「2015 春季生活闘争特別研修会」を2月5日福島市のラコパふくしまにて開催した。2015 春季生活闘争のスローガン「賃上げで景気の底支えを！休み方、働き方改革で長時間労働撲滅」を合言葉に、研修会には県内の連合傘下の構成組織から約200名が出席した。

冒頭、主催者を代表して今泉裕連合福島会長は「労働組合として、その真価と力量が問われる『2015 年春季生活闘争』がスタートした。様々な格差が生まれている中での今次春闘は、取り巻く環境が今までよりも良いと言われていても、良い時の交渉ほど厳しい交渉が予測される。交渉においては労使双方が、腹を割って話し合うことを求めている。労働組合として春闘とは何か、賃金とは何かを、きちんと把握した上で要求書を作成し、積極的に交渉を進めて欲しい」と挨拶した。

次に各構成組織を代表して、JEC連合福島地方連絡会 佐藤 和良事務局長、運輸労連福島県連合会 戸倉 秀二事務局長から、2015 年春季生活闘争に対する取り組み方針や決意が表明された。

引き続き開催された講演会では、日本銀行福島支店支店長、中島 健至氏から「福島県の経済情勢と課題について」というテーマで、福島県内各地の人口状況や有効求人倍率、更には消費者物価指数と名目賃金、春闘ベアの妥結率等について、詳細な資料に基づいて判りやすく説明がなされた。

最後に加藤事務局長の力強い団結ガンバローで、春闘勝利に向けて氣勢を上げて研修会は閉会となった。

連合福島春季生活闘争特別研修会



主催者代表挨拶する今泉裕連合福島会長



取組報告する戸倉事務局長



真剣に傾聴する参加者の皆さん